

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 地歴 科目 歴史総合

教 科： 地歴 科 目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 必修

教科担当者：1組～3組：中山 4組～6組：佐伯

使用教科書：（「歴史総合・近代から現代へ」（81 山川・歴経707））

教科 地歴 の目標：

【知 識 及 び 技 能】我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う

【思考力、判断力、表現力等】現実社会の諸課題の解決に向けて、歴史的知識を踏まえ、選択・判断の手掛かりとなる考え方、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を歴史的事象を踏まえ主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す	我が国と世界の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う	我が国と世界の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	諸地域世界の形成について、地理的知識を確認しながら近現代に至るまでを各地域にわたり俯瞰できるようにする。（アジア中心）	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	（知識・技能）アジア諸王朝と皇帝による支配について理解している。漢字や儒学などの文化圏の形成やその特徴、朝貢貿易などの東アジア世界の国際秩序のあり方を理解している。 （思考・判断・表現）中国を中心とする朝貢貿易による国際秩序のあり方と、ヨーロッパの自由貿易の考え方の相違点について考察している。（主体的に学習に取り組む態度）地図を活用しながら中国の王朝の変遷を確認し、狩猟・遊牧民と農耕社会の関わりについて分析しようとしている。 ・中国の諸王朝やその文化と、日本など東アジアの国々の関係を追究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	諸地域世界の形成について、地理的知識を確認しながら近現代に至るまでを各地域にわたり俯瞰できるようにする。（ヨーロッパ中心）	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	（知識・技能）オリエント文明から地中海世界の形成へのつながりを理解している。 ・地中海世界のギリシア・ローマ文明が今日の東西ヨーロッパ世界とイスラーム世界のもとになっていることを理解している。（思考・判断・表現）西ヨーロッパ世界と東ヨーロッパ世界にそれぞれ広まったキリスト教の違いを写真資料の違いから考察している。（主体的に学習に取り組む態度）地図を用いて、ギリシア・ローマの古典文化がビザンツ帝国やイスラームによって保存・継承されたことを説明することに取り組もうとしている。 ・ローマ帝国の下で発展したキリスト教が、ローマ帝国とともに今日の東西ヨーロッパ世界の形成に影響をあたえていることを探究しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学 期	近代社会の成立について、アメリカ・フランス両革命を中心に現代社会の成立について他者への影響を踏まえて理解できるようにする。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	（知識・技能）アメリカ独立革命とフランス革命の原因とその経過について理解している。 ・ナポレオン戦争によるヨーロッパにおける変化を理解している。（思考・判断・表現）アメリカ独立革命がその後の世界に与えた影響を比較しながら、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・フランス革命がその後の世界に与えた影響を多面的・多角的に考察し、表現している。（主体的に学習に取り組む態度）アメリカ独立革命とフランス革命によってうみ出された理念や考え方について追究しようとしている。 ・二つの革命の歴史的意義を見出そうとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	日本の開国から二次大戦に至る経緯を『世界の中の日本』という観点を意識しながら整理理解できるようにする。	・教材：教科書、資料集、問題集等 ・振り返りシートの記述、一人1台端末の活用 等	（知識・技能）大政奉還の上表以降、明治新政府が成立していった経緯を理解している。 ・四民平等へ向けた諸改革を理解し、文明開化の風潮と広まりを整理し、理解している。（思考・判断・表現）大政奉還の上表・五箇条の誓文の史料を読み、新政府の方針を比較して共通点・相違点を考察している。 ・四民平等の原則により、同じ義務をもつ国民が形成され、徴兵や租税の徴収がどのようにして実施されたのかを考察している。（主体的に学習に取り組む態度）	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1

